

76

軍令部

人事局

軍務局

秘

聯隊機密部 一六二番三

別紙 通告
明治三十七年二月十九日
及報告候也
編

海軍大臣勇爵山本權兵衛殿

聯合軍司令部長官

聯合軍司令部長官印

源

海軍

三

0004

聯隊機密第一六二號
旅順口閉塞隊編制ヲ左ノ通定ム

明治三十七年二月十九日

聯合艦隊司令長官東郷平八郎

○旅順口閉塞隊編制

第一閉塞隊

(指揮官)

(閉塞用船) 天津丸

海軍中佐有馬良橘

(初瀬) 大機関士

山賀代三 (浅間) 上等兵曹上信音藏

(浅間) 一等信號曹

内田格之助 (初瀬) 一等機関曹大野喜一郎

(三笠) 二等兵曹

林 紋平 (三笠) 二等機関曹加儀榮義

(右全) 一等機関兵

田中三九郎 (初瀬) 一等機関兵阪口力松

(初瀬) 右全

高橋運治 (千歳) 右全 万本次郎松

(千歳) 右全

田中豊太郎 (富士) 右全 飯田良吉

(笠置) 二等機関兵
(右全) 三等機関兵

深山長作 (富士) 二等機関兵室 梅市
谷田志摩生 (右全) 三等機関兵 青木 勘助

第二閉塞隊

指揮官

(敷島) 大機関士

栗田富太郎 (朝日) 一等兵曹 大沼今朝郎

(右全) 二等兵曹

角久川幾藏 (敷島) 二等機関兵 塚本 助市

(朝日) 三等機関兵

大山鉄三郎 (朝日) 一等機関兵 三富田太郎

(右全) 一等機関兵

竹澤弥七 (敷島) 右全 日高金元雨

(敷島) 右全

藤本金次郎 (右全) 二等機関兵 武野 敬次

(右全) 二等機関兵

佐藤七郎 (朝日) 右全 高井 清

(笠置) 右全

城戸 隆 (笠置) 三等機関兵 盛田 隆義

(朝日) 三等機関兵

石井銀次郎

第三閉塞隊

(閉塞用船) 仁川丸

閉塞用船 報國丸

海軍少佐 廣瀬武夫

(指揮官)

海軍大尉齋藤七五郎

(霞) 大機関士南澤安雄(八島)一等兵曹山田仲次郎

(浅間) 二等機関會增田平馬(右全)三等機関會寺岡寅市

(出雲) 一等機関兵青木五郎(出雲)一等機関兵貝原六郎

(浅間) 全 林政吉(八島)右全 土屋勝次郎

(出雲) 二等水兵安部助藏(右全)二等機関兵榎原健三

(右全) 二等機関兵伊豆音松(吉野)右全 三村千万

(右全) 右全 三島謙六(浅間)右全 宇野席三

(吉野) 三等機関兵藍原善七

第四閉塞隊

(閉塞用船)武陽丸

(指揮官)

海軍大尉正木義太

(初瀬) 中機関士大石親徳(初瀬)一等兵曹米良正藏

(吾妻) 三等機関會榎原龜次(右全)三等機関會田尻藤八

(高砂) 一等水兵新上栗太郎(八雲)一等機関兵樋口吉次郎

(吾妻) 一等機関兵 栗田 録太郎 (初瀬) 一等機関兵 田尻 利平
 (八雲) 右全 高橋 勝衛 (八雲) 二等機関兵 中田 敬一郎
 (右全) 二等機関兵 篠宮 大夫 (吾妻) 右全 吉田 乙次郎
 (初瀬) 右全 濱 六松

第五閉塞隊

(閉塞用船) 武州丸

(指揮官)

海軍中尉 鳥崎 保三

(常磐) 少機関士 枚 政人 (常磐) 一等兵曹 中川 作太郎

(富士) 三等兵曹 赤松 虎太郎 (右全) 二等機関曹 米田 賢一

(磐手) 三等機関曹 木下 志米吉 (磐手) 一等機関兵 松元 豊吉

(右全) 一等機関兵 加儀 志徳 (右全) 右全 長井 右吉

(常磐) 右全 上野 岩次郎 (常磐) 右全 玉井 寅之助

(高砂) 右全 山 鐵藏 (高砂) 右全 庄 喜藏

(常磐) 四等機関兵 橋本 圭三郎

各閉塞隊 負八十九日中二其用船三乘之



出陣者

六月十一日

於裏長山列島三笠



午前濃霧
午後霧

風 北東 〇—
南東

湿度 最高七四度 最低六一度
晴雨計 最高三〇〇
最低五八

軍務局

一封鎖配備ニテ 第二駆逐隊今朝帰港セリ其報告ニ依リ八十日

正午頃小平島附近迄出テ来リ敵駆逐艦四隻ヲ発見シ之ヲ鮮

生角迄追撃セシカ敵ハ背進シ遂ニ旅順口内ニ入リト云フ

一渤海湾ニ出動中ナリニ第十艇隊帰港セリ其報告ニ依リハ監視勤務

中九日黄家口(復州半島ノ南西端附近)ノ西方西中島ノ南西端海岸ニ敵駆逐

艦ヲマチエリニ一ノ坐礁セルヲ発見シ又復州湾中ニ於テ旅順ニ赴

カントスル敵ノ痛信兵ニ名ヲシヤシク内ニ搜索発見シ捕虜トナ

セリ携フル所ノ公信書作戰上餘リ得ル処ノモナシト

一新本隊ニ所属セルマシタル假裝砲艦大野川九姫川九到着セシヲ

以テ之ヲ受領及乗員交代ノ件三浦港務部長及坂本八島艦長

ニ訓令セリ

0009

一 大連湾ノ第一期掃海事業大ニ進捗シタルヲ以テ更ニ第二期掃海計
画及談議ノ運輸交通ノ設備計画ヲナスベキ者第三艦隊司令長官

ニ訓令セリ(聯隊機密第一
七六五号参照)

一 南尖澳附近測量中ナリシ海門砦城ノ任務終了セシヲ以テ更ニ花
園口ヨリ畢利河口ニ至ル附近海岸測量ヲナスベキ旨談ニ艦々長

ニ訓令セリ

一 渤海湾ニ出動中ナル東郷第三艦隊司令官ヨリ左ノ電信報告ニ
接セリ

牽制及強行封鎖ハ充分ノ効果アリタリ蓋州附近ニ敵兵約三
千アリ我軍ノ上陸準備フルモ、如シ我砲撃ニ依リ營口ニ在リシ敵
兵約三千モ皆退却セリ又南下シツアリシ汽車ハ我砲聲ニ驚キ
引返シ時通行ヲ絶テリ捕虜ニモ敵兵ハ六日復州北方海岸ヨ
リ支那船ヲ僱ヒ行ク途中ナリ其言ニ依リ敵ハ四日頃德瓦房店

附近ニ約五千ノ兵ヲ集メツアリ押收セシ文書ハ作戰ニ関シ
餘リ得ル処ナシ露國ニ等勲章以下四箇アリタト委細ハ

明日報告ス

一初メ封鎖配備ニアリ后渤海湾ニ出動セシメタル第四駆逐隊
今夕帰來セリ該隊ハ昨十月午前十一時ヨリ約二時間營城
子双台溝附近ノ敵兵ヲ砲撃シ多少ノ効果ヲ見タリト

六月十二日(日) 於裏長山列島三笠

天候半晴 風南西〇―ニ 温度最高七三度 最低六五度 晴雨計最高二九・八ニ
一春日修理ヲ終リ本日吳ヨリ帰着ス

一第六戰隊(千代田)赤城序治ノ五艘渤海湾封鎖強行陸上威
嚇ノ任務ヲ終リ帰來セリ

一本日浅間笠置及第一駆逐隊封鎖配備ヨリ帰リタリ

一光録島南岸ニ坐礁セシ竜田ハ本日午前無事入港セリ該艦ハ

0011

先月下旬引却ロシニ着手セシモ新ニ損取ヲ発見シテ之ヲ果サス
又雨東南方ノ強風屢々吹續キソル為メ再三引却準備ヲ後
方ニ帰セシメ事業益困難トナリ私カニ成功如何ヲ氣遣ヒ居
リシカ三浦港務部長以下ノ不撓熱心ナル尽力ニ依リ終ニ本
日ノ満潮ヲ以テ無事引却シテ了シタリ

六月十三日(月) 於襄長山列島三笠

天候快晴 風南南。一 温度最高廿五度 晴雨計最高九。八五
最低六。五度 最低九。八〇

一艦載水雷艇六艘ヲシテ旅順港外ニ機械水雷沈置ノ為メ出
動セルム(午前九時) (出港)

一午後六時十四分台北丸ニテ機械水雷砲何爆發シ為メ小田
敷設隊司令以下死傷者二十五名ヲ出セリ原因不明

一封鎖配備ニアリシ第一駆逐隊歸米ス(午後六時五十分) (入港)

一大連湾ニアル掃海艇警備ノ任ニアリシ松島午後八時三七分

帰来ス

一昨十日参謀一名ヲ第三軍ニ派遣シ大連湾掃海進行ノ如
何ニ拘ラス来ル二十五日ヲ該湾ニ於ケル海上ノ輸送ハ凡テ海
軍ニテ引受クルヲ及大連湾ニ海軍港務部臨時開設ヲナ
スヲ協定セシメタリ

一青泥窪ニアル諸戦利材料ニレテ海軍ニ於テ使用シ得ルモノハ凡
テ大連湾ニ臨時設置スル海軍港務部ニ引受ケタキ旨第三
軍ニ恣議書ヲ送り置ケリ(聯隊機密第一
七五ヲ参照)

一本日ヲ以テ遼東ニ上陸スベキ第六師團ノ先發隊塩大澳ニ
到着シ其上陸セシモノ歩兵二個大隊騎兵一個中隊ナリ

一本日大箇口四四〇尺山砲ニ假設望楼ヲ開始ス

一明十四日第三軍ノ左翼ハ小平島以西ノ威力偵察ヲナス豫
定ナル旨通報ヲ得タルヲ以テ封鎖配備ノ為メ出動中ナル第三

0013

驅逐隊第一、第十四、第十六艇隊ヲシテ之ヲ聲援セシムベキ
旨命セリ

一 第三軍ヲノ依頼ニ依リ陸軍揚陸点守備ノ為メ上陸セシメタ
ル我陸戦隊ハ其砲隊ヲ麻盤山ノ陣地ニ移シ騎兵旅團
ノ收容ニ任セシメ銃隊ハ第十七旅團ト共ニ前進ニ決シタル
旨談陸戦指揮官ヲ報告アリシヲ以テ直ニ之ヲ差止メ深ク
内地ニ前進スベカラザル旨電余ニ置ケリ

六月十四日(火)

於襄長山列島三笠

天候快晴(夜ニ入り降霧ス) 風南々西一ニ温度最高六八度最低五八度 晴雨計最高五七度最低五八度
一 昨十三日晝北九變北火ノ際裝備セル機械水雷一個同船甲板
ヲ海中ニ落ケシヲ以テ本日終日當地全錨地ヲ搜索セルモ見
當ラザリシヲ沈没セルモノト認メ搜索ヲ止ム

0014

一旅順口外ニ機載水雷沈置ノ為メ行動セシ艦載水雷艇ハ全部
（大艘）敵ニ発見セラレズ完全ニ任務ヲ遂行シ午後三時三十分帰
港セリ人員及艇ニ些ノ損傷ナシ

一午後五時十分嚴島（大連湾沖ニ出動中）ヨリ左ノ電報ニ接ス

今第三駆逐隊司令（第一、第十四、第十六艇隊ニ封鎖配備ナルモ）報告ヲ取次ク封鎖

配備ナル駆逐隊艇隊ハ昨日千歳ヲ傳ヘラレタル命令ニ

依リ今朝ヨリ小平島ノ南西ニアル陸岸ニ近寄り敵兵ヲ

シキモノ又ハ敵ノ見張取シ砲撃シ陸軍ノ威力偵察ヲ聲耳

援ヒツヤリシガ午後三十分頃ニ至リ今朝ヨリ旅順口外

ニ托テ掃海ニ從事シ居リタル敵ノ駆逐艦十隻ハ「ビツク」ト共ニ

俄ニ我ニ向ヒ突進シ来リ各隊共ニ盛ニ之ト砲戦ヲ交ヒ

ツ、今南三山島ノ南東迄退却セリ我艦艇ハ凡テ員集

ナシ「ビツク」ハ帽島ノ東迄追撃シ来リ駆逐隊水雷艇

隊ハ日没再ヒ各哨区ニ就カレムル筈

一本日塩太澳ニ於ケル陸軍ノ揚陸ハ第六師團ノ歩兵三大隊半
騎兵二中隊砲兵一中隊ナリ

一青泥窪ニ於テ海軍經營ニ着手スル為メ港務部ヲ開始スベキ

旨三浦港務部長ニ訓令セリ(聯隊機密第七七)

一西中島(復州半島ノ南西位置)ノ南西岸ニ坐礁セルウニマチエリニテ揚

ノ委員長ヲ坂本八島艦長ニ命セリ又右引揚ニ関シ技士職工

派遣スベキ旨ヲ港務部長及三池九工作長ニ訓令セリ(聯隊機密第七七)

(八〇号参照)

一渤海湾ニ於ケル敵ノ交通遮断封鎖実行、敵駆逐艦引揚事

業授護等ノ目的ヲ以テ第六戰隊島海假裝砲艦二艘及第六

十六艇隊ヲ率ヒ来ル十六日ヨリ出動スベキ旨東郷第三艦隊

司令官ニ訓令セリ(聯隊機密第七八号)

六月十五日(水) 於裏長山列島三笠

天候 午前濃霧 午後半晴 風 偏東。一三 温度 最高七度 最低六度 晴雨計 最高二九.八七 最低二九.七八

一午前八時五十三分至第一艦隊司令長官ヨリ左電報ニ接ス

哨艦對島ヲ浦塩斯德艦隊三隻沖ノ島附近ニ見ユト無線

電信アリタルニ舟直ニ總艦ヲ率ヒ出港ス

依テ直ニ扶衆ニ打電ニ陸軍運送船ノ塩太澳出奔内地ニ向テモ

ノ一時中止スベキ旨注意ヲ與ヘタリ

其他本件ニ関シ佐世保鎮守府司令長官大木啓海軍々令部

長ヨリモ通報ノ電報ニ接ス

一海軍々令部次長ヨリ次テ左ノ電報アリク(午前十時三十分至)

第一艦隊及水雷艇隊ハ午前九時半出港セリ又竹敷要

港部所屬水雷艇隊ハ今出奔セント竹敷要港部司令官ヨリ

電報アリタリ

0017

一本日封鎖配備交代ノ為メ笠置高砂午前出港スベキ旨ナリニモ
濃霧ノ為メ之ヲ取止メ明日十六日ニ延ハサシメタリ

一第一第四駆逐隊第九艇隊封鎖配備ノ為メ霧晴レタルヲ以テ
午後出港セシム

一第一三駆逐隊第一、第一十四、第一十六艇隊封鎖配備ヨリ帰來シ
各司令ヨリ行動ノ概況及昨日十四日ノ戦況報告ヲ受ク(上記各隊)

(詳報
参照)

一本日浦塩艦隊九州北岸ニ現ルタルヲ以テ戦上ノ顧慮ニ依リ
今日ノ夜間封鎖監視ヲ更ニ嚴ニスル為メ第五駆逐隊
ヲ増遣スルコトナシ午後五時出港セシメタリ

一海軍々令部次長ヨリ左ノ電報ニ接ス(午後十時着)

午後五時五十八分福岡縣知事ヨリ左ノ電報アリ

只今天健島へ引返シタル運送船日野丸ノ齎ス所ニ依レバ

御用船常陸丸金澤丸佐渡丸其乗組近衛師團豫備后備
二五七〇人馬六三八匹本日午后二時沖ノ島ト角島ノ沖合ニ於テ
露^艦四^艦水烟突一ニ水烟突一砲艦ニ以上四隻又右ノ三艘ノ船
ヲ取圍ミ撃沈セシ由

一竹敷要港部司令官ヨリ左ノ電報ニ接ス(午後十時三十分発)

第一艦隊及水雷艇隊八年前九時三十分出港第十五水雷艇
隊八年前十時四十五分神寄ヲ通過シ壹岐方向ニ第十水雷
艇隊ハ今時平戸方向ニ第二艦隊及浪速新高ハ午後三時三
十分神寄沖島方向ニ高千穂千早ハ午後三時三十分神寄ヲ
同方向ニ通過セリ本日不幸ニ午前十時頃ヨリ降雨烈シク
午後三時南東ノ風雨益々暴如シ海上ノ理以上ハ望見スル
能ハス水雷艇隊ハ航海ニ堪ヘサルモノト認メタリレカ午後六時三
十分第十五艇隊ハ總ヲ帰港シ司令艇ハ春日丸ニ立寄リ全隊

0019

八再出航セリ全隊八連送船ヲ発見セバ護送シ來ル命ヲ受
ケ壹岐沿岸ニ航シ途中帆船數隻ニ就キ敵状ヲ尋子タル
モ得ル処ナク又艦隊及第十一水雷艇隊ハ何ト行キレヤ知ラズ
ト云ヘリ本部ヨリ第一艦隊ハ午后四時頃大河内ヲ中継トシテ
敵艦若宮島(壹岐)ヲ東へ通過シ去リタル旨ヲ通知セシモ
隊ニ不慮ニ終リ艦隊ハ何ト向ヒ居ルヤ分明ナラズ午後九時頃
迄ハ非常^{北風}ニシテ風ハ四乃至五ナリレガ其後ハ雨止ミ風ノミナルモ
展望充分ナラズ我艦隊ハ或ハ敵ヲ追尾シツハカルナラニカ左
御通知ス

一第三軍司令部ヨリ左ノ電報ニ接ス(午後七時六分發)

只今我左翼^{コクセキ}ニヨリ監視哨ヲ左ノ報告アリタリ

午後七時過小平島沖ニ於テ一發ノ砲聲ヲ聞ク銃ヲ彼我ヲ
分テ難キ軍艦四隻東方ヨリ西行キ小平島東南ニ來ルヤ旅順

0020

方向ヨリ四隻ノ駆逐艦ヲシキモノトシヤニク十二艘ト今所ニ航
行ニ来リ其位置ニ停止シ東方ニ向テ警戒スルモノ、如シ察スル
ニ今所附近ニ水雷ヲ敷設スルニテラサルカ

又右翼ヨリ本日日没前艦十四艘ヲユウカクサン(榮城子西上カ)
沖ニ現ハル其軍艦ハ彼我ノ区別介ラズトノ報アリ

一本日ヲ以テ第ニ軍第ニ面縦列ノ輸送完結シタリ又第六師團ノ
上陸セシモノハ歩兵四大隊半騎兵ニ中隊砲兵ニ中隊ナリ

六月十六日(水) 於長長山列島三笠

天候 午前曇晴 風 北西、一四 温度 最高七六度 晴雨計 最高二九七五
午後曇晴 南、一 最低六四度 最低二九六八

一八重山ヲシテ大連湾掃海艇艦警備ノ為メ出港セシム(午前六時出港)
一直隸海峡附近監視ノ目的ヲ以テ約二日間香港ヲ出動セシム(午前
八時出港)

一笠置高砂ヲ封鎖配備ニアル千歳千代田ノ交代トシテ出動セリ

(午前八時半出港)

一昨夜到津シタル第三軍司令部ヨリノ電報及浦塩艦隊ノ九州北岸ニ現出シタル目下ノ情況トシテ依リ第六戰隊島海及假裝砲艦ノ渤海灣ニ行動スルヲ一時中止スル

一午後千歳千代田封鎖配備ヨリ帰港ス去十四日ノ小平島附近ニ於ケル我駆逐隊艇隊ト敵艦トノ交戦ニ関スル件及一那威汽船ヲ臨検シ異常ナキヲ以テ解放セシ件ノ外報告セシ

事項ナシ

一昨十五日大連湾南口角ニ假設望樓ヲ設置セリ

一嚴島大連湾掃海船舟警備ノ任ヲ歸着セリ(午後一時分)

一昨日第二艦隊ハ搜敵ノ為メ出茂セシ以後其行動不明ナリシガ故要港部司會官ヲ左電報ニ接シ稍其行動ヲ知ルヲ得タリ

(午後五時 世五分表)

七十三号水雷艇午後三時帰着セリ其報告ニ依リ六十一艇隊ハ昨
日本隊ト同行シ鬱陵島ニ向ヒタルモ風波烈シク且石炭缺
乏セシヲ以テ午後七時頃々數ニ帰着セヨトノ命ヲ受ケ帰航中
本日午前二時頃(一語不明)ノ水雷艇ト介商シ司令艇ニ歸着セリ
同艇ハ帰航ノ途中十五艇隊ト會合シ本隊ノ進行方向ヲ通知
セシムルヲ以テ十五艇隊ハ直ニ鬱陵島ニ向ヘリ敵艦ノ所在ハ
韓崎ヨリ十五艇隊ハ通知スル様命ヲ置ケリ今朝(一語不明)ハ
鬱陵島ニシテ其後ハ如何ナル行動ヲ執ルヤ不明ナリト云フ
沖島ハ八連送船及同島邊難ノ状況取調ノ為メ十八水雷艇
隊ノ二隻ヲ派遣セリ右通知ス

一 軍司令部長ヨリ左ノ電報ニ接セリ

滿洲軍總司令部編制セラレ野戰軍總司令官トシテ侯爵大山
元帥總參謀長トシテ男爵兒玉大將出征ノ筈其ノ編制勤務

令等ハ郵送ス第ニ軍司令官ノ相談ニ應ニ旅順攻撃ニ
参加セシムヘキ陸戰重砲隊ハ單ニ射撃ヲ要スル將校下士卒

ヲ海軍ヨリ出シ一般ノ指揮上陸後ニ拾ケル砲及彈藥等ノ運
搬砲臺ノ築造陣地掩護並要スル人員及糧食ノ給與衛
生イリヨウ材料ノ設備ハ總テ陸軍ニ擔當ノコトニ協議中

ニ付其旨ヲ以テ第ニ軍司令官ト協商シ置カレタリ

一昨日後七時以後所在不明ナリ敵艦隊ノ件ニ就キ軍令部次
長ヨリ左ノ電報ニ接セリ(午後六時五分發)

諸種ノ情報ニ依レハ露艦ヲレキモノ四隻十六日午前十一時頃
隱岐島前北沖ニ顕ハレ同午後一時頃西北ニ進行スル如ク
見ヘシモ雨霧ノ為メ其影ヲ失ヒタルカ如ク

一軍令部次長ヨリ更ニ左ノ電報ニ接セリ(午後一時五分發)

隱岐國北方郵便局ヨリ左ノ報告アリタリ午後三時十五分一艘

0024

ノ汽船ヲ先キニシ三艘ノ三水マストノ軍艦西ニ向ヒ進行シ三時半頃
更ニ東北ニ轉針シ徐カニ進行セリ

一竹敷要港部司令官ヨリ左ノ電報ニ接セリ(午後八時四十七分)

第一艦隊ノ敵情報告ノ為メ鳴ヲ午後七時三十分出港セシメタリ

一本日迄塩太澳ニ於ケル第六師團ノ揚陸兵ハ歩兵八大隊騎兵

一聯隊砲兵五中隊ナリト云フ

六月十七日(金) 於重長山列島三笠

天候 降雨雷鳴 風 南西ニ一四 温度 最高六九度 最低六五度 晴雨計 最高九七五
降雨 北西〇一三

一鎮遠(大連湾)掃海事業警備ノ交代トシテ出港セリ

一第一第三駆逐隊 第十第十四艦隊封鎖配備ノ交代トシテ午

前出港セリ

一第六十五号水雷艇修理終リ兵ヨリ帰着セリ

一 第九艇隊 第一第四第五駆逐隊 封鎖配備ヨリ帰着セリ其
 報告ニ依テ敵ハ城頭山下及老鉄山高南東側ニ於テ尚ホ掃海
 ヲナシツ、アルモノ、如シ又第四駆逐隊ハ老鉄山ノ約南東八哩乃至
 十一哩ニ於テ敵ノ浮流機械水雷三個及假製水雷一組（敷設シテ
 リタルモノ如シ）ヲ掃三山島ノ東方ニ浮流機械水雷一個ヲ北隍城
 島ノ約北東方ニ五哩半ニ假製水雷一個ヲ各發見シ共ニ之ヲ
 撃沈シ又芝罘ヨリ小平島ニ航進シツ、アリシ糧食品積載ノ
 シヤニク一艘ヲ拿捕シタリ又去ル十五日旅順口ヨリ避難支那人
 ヲ載セ出港シタル十二艘ノシヤニクヲ監検セシモ異常ナカリシト云フ
 一 八重山大連湾掃海事業警備ノ任ヨリ帰着セリ
 一 軍令部長ヨリ左ノ電報ニ接ス

十七日午前十時四十分登竹敷要港部司令官ノ報告ニヨリ十六
 前九時四十分ヨリ十時十分頃迄要港部ノ約北東ニ當リ六

七波ノ砲聲ヲ聞ク距離四十理以上ナラント又角島及廣岐
寄望樓ヨリモ砲聲聞エトノ報告アリ

一本日迄塩太澳ニ於ケル第六師團ノ揚陸セル兵ハ騎兵、砲兵ハ
全部歩兵ハ一個大隊ノ外全部ヲ揚陸シ終リタリト云フ

第一艦隊司令長官ヨリ左ノ電報ニ接ス(午後五時三七分元山豊)

本隊ハ露國艦隊ノ沖島附近ニ現ハレタル^急電報ニ接シ水

雷艇隊ニ急行ヲ命ジ本隊ハ直キニ出港搜索運動ヲナセシ

モ不幸ニシテ天候ニ妨ケラレシメテ発見ニ得ザリシニ依リ翌

天明鬱陵島附近ニ於テ(一語)発見ノ見込ヲ以テ北行シ

夫レヨリ「ブルアツト」岬ニ進ミ同岬ヨリ元山ニ向ヒ南航中濃

霧ニ會セシモ幸ニシテ千早ヲ元山ニ派出スルノ機會ヲ得タ

ルニ依リ艦隊行動ノ概要ヲ報告ス艦隊ハ(一語)竹敷ニ帰

航(一語)不明)中敵ニ遭遇セズ艦隊一同無事(一語)報告ス

六月十八日(土) 於襄長山列島三笠

天候 快晴 風 蕩一三 湿度 最高七一度 最低六一度 晴雨計 最高九七三 最低九七三

一松島大連湾掃海事業警備ノ為メ早朝出港セリ

一封鎖配備ニ在ル艦艇ノ任務及敵艦隊脱出ニ際シ各戦隊

駆逐隊艇隊ノ操ルハキ行動ニ就キ命令ヲ發セリ (聯隊機密ヲ守ルニ付参照)

一竹敷要港部司令官ヨリ昨日要港部ノ北東方ニ砲聲ヲ聞

キソルハ下ノ関要塞ニ於テ大砲試發射ヲナセシモノ、音響ナリ

ニ音電報来リタルヲ以テ當地ヨリ内地ニ行クベキ運送船ノ発

航禁止ヲ解除シ同時ニ扶桑ハモ此音電報ニ置ケリ

一軍令部次長ヨリ浦塩艦隊ノ取在ニ就キ左ノ電報ニ接セリ

(至前六時五十分發)

本日午前五時三五分白神崎假設望樓發左ノ報アリ浦塩

艦隊三隻小島沖運動

又 (午前九時
十五分發)

十八日午前八時二十分發電左ノ報告アリ 敵艦南航シ其影ヲ

決ヒリ

又

十八日午前十時十五分發船作崎ヨリ左ノ報告アリ 敵艦三艘

遠距離ニ於テ南航ス

又

十八日正午船作崎發電左ノ報告アリ 敵艦ハ針路ヲ北西ニ轉

シ其影ヲ決マ

一竹敷要港部司令官ヨリ左ノ電報ニ接セリ (午前九時
發)

第三艦隊へ情況報告ノ為メ十一艇隊ヲ只今出港セシメタリ

一犬邊湾沖ニアル松島ヨリ左ノ電報ニ接セリ

午後三時三十分鮮生角ノ東灣ニハヴツクヨリヤダ他砲艦

一駆逐艦ハ出テ尾ヲ認ム尚湾澳ニシヤンク数艘居
ルカ如シ又今青泥窪ノ西ニ富リ烈ク砲聲ヲ聞ク

又

午後五時二分及五時三分ノ二回曩キノ露艦ノ位置ニテ大爆
發數回ヲ見ル我ハ駆逐隊之ニ近キツ、アリ吾鎮遠ニ
從ヒ之ニ向フ

一大連湾沖ニ在ル鎮遠ヨリ左ノ電報ニ接セリ(午後六時 四十五分)

敵艦二艘青泥窪ヲ砲撃ス松島及第十艦隊ト共ニ追尾ス
又(午後七時 着)

敵艦逃ケ去ル吾第ニ地点ニ向フ

一封鎖配衛ニ在ル笠置ヨリ左ノ電報ニ接セリ(午後五時 五十分)

帽島ノ方面ニ砲聲聞エ敵ノ砲艦ヲ砲撃スルナラニ本隊ハ
之ニ向フ

0030

又 (午後七時
四十分着)

小平島沖ニ至リシモ敵艦(逃)去リタリ豫定配置ニ於テ駆逐艦隊

異状ナシ

又 (午後八時
五十分着)

第一駆逐隊ヨリ報告今朝午前十時頃朝潮ヲ見テ再ビ偵察

セシメシニ「バヴツク」黄金山砲臺ノ東ニ在リテ一石ノトルノ距

隔ヨリ砲撃ヲ初メ外ニ一烟突ノ砲艦三艘ト駆逐艦四艘アリ亦

不營砲臺ノ南方ニ駆逐艦四艘ト掃海艇三隻汽艇六艘アリ

リタリ午後三時本隊ハ旅順口ヨリ出テタル「コヤク」二艘ヲ又地点

ニテ臨検セシトキ敵ノ駆逐艦三艘「ボール」形三艘「バビツク」之レニ

次ガ沿岸ヲ傳フテ味方ヲ攻撃ニ来リタリ今小平島ノ沖ニ在リ

一大連灣掃海ニ付キ本日同指揮官吉島少佐ヨリ報告セシ概要左如

本日第五第六小隊ノ残部(第五第六及ホス)ト第七第八小隊ヲ

0031

掃海セリ又別ニ柳樹比ヨリ大箇口ノ方向ニ豫定海面ヲ潜水者ヲシ
テ掃海セシメツ、アリト本日第九第十区ニ於テ水雷五何ヲ区域外
ニ二何或ハ三何ヲ爆発セリ船艇人員皆無事ナリ

一十六日出直隸海峽附近ノ海面監視ニ出勤セシ香港九午尾歸
着セリ

一軍令部改長ヨリ左ノ電報ニ接ス

十七日芝罘本林海軍中佐ヨリノ報告ニ依リハ近來旅順ト當地方
トノ間ヨシヤニクノ往來依然絶へず聞ク所ニ依リ數日前生糧品
並塩牛肉等密輸入セシモノアリテ今後尚継続セントシツ、アル
カ如シト云フ此ノ如キ行為ヲナスナラント認定スルモノハ支那商人
及獨國人中怪ムヘキモノアリ我領事ハ銳意探知(不字)ニ関シ
手段ヲ施スヘキモ如何センヨシヤニクハ不測ノ海邊ヨリ夜陰ニ氣
ニ脱出セルモノニシテ行政ニハ到底之ヲ余然防遏ニ難キ処ト

0032

察セラル然リ而シテ密航者ノ云フヲ漏聞スルニ近頃日本軍艦カ
老鉄山頭附近ニ近寄ラサルヲ以テ彼ノ地ニ出入スルコトハ尙等故
障ナクシテ許多ノ利益ヲ收獲シ得ルコト敢テ困難ニアラス
ト云フ者アリト云フ彼等カ近來彼地ニ航行レツトアリト云ハ
ル航路ハ大概當地方ヨリハ登州府ニ向ケ出登夫レヨリ廟島
ノ西方ヲ航シテ北走シ老鉄山ニ若ビ右折シテ成ルベク夫ケ海岸
ニ接近シテ航行セハ倭令ヒ日本軍艦沖合ニアリトスルモ決シテ近
寄り来ルコトナレト想定シ居レリ「シヤニク」ノ出入スル所ハ旅順
ニ非ラスシテ老鉄山燈臺ノ西方「カニカ」地若クハ「ヨトムワ」附
近ナルカ如ク以上ノ如キモノ封鎖中今後徘徊スルコトアラバ捕獲
若クハ撃沈スル等威力之レヲ懲戒シテ恐怖ノ念ヲ起シ船頭
ヲシテ再ヒ犯則セシムサル様御沙汰アラニトヲ希望ス
一塩太澳ニ控ケル第六師團兵ノ揚陸ハ工兵部隊ト歩兵二中隊ノ

一第一、第三駆逐隊、第十、第十四艇隊封鎖配備ヨリ帰着セリ勤務中
ノ出来事ハ昨日鎮遠、松島、笠置等ノ電報セリ事情ノ外異状ナ
ク敵ハ連日城頭山下附近ノ掃海ニ從事レツ、アルモノ、如シ

一第二艦隊司令長官ヨリ索敵行動ニ関シ左ノ電報ニ接セリ

十五日午前八時頃哨艦對馬ノ報告ニ依リ敵艦沖ノ島附近ニ現
ハレ南方ニ航行スルヲ知リ本職ハ水道ノ安固ヲ絶^對的ニ保持
得ル時機到達スルヲ喜フ麾下一同勇躍士気ハ旺盛ヲ極^ル耶
ヲ麾下艦隊ニ至急点火ヲ命シ竹敷要港ニ在^ル高千穂新
高及哨艦服務中ノ千早ニ至急來會ス^ル備^令ヲ非^レ後^レ出^スク
第十^五隊^士水雷艇隊ヲテ急行^神寄ニ至リ機^匣ノ^運動ヲ
取リ同海面ノ警戒ニ任シ又西方ヨリ來ル船舶アリハ之^レヲ竹敷要
港ニ避^難セ^ルハヘ^トヲ命シ同時ニ同司港務部ニ電報ヲ送シ
西航スル船舶、出港ノ停止^シ艦隊ハ次ヲ出航對馬トノ通信ヲ

継続し且敵艦隊ヲ目撃ノ間ニ奈見ニ得ヘイ目的ヲ以テ對馬(寧)
南端ニ向ヘリ艦隊灣口ヲ出リヤ天候忽チ險惡トナリ(延)雨
霧ヲ伴ヒ来リ後述戰隊ヲ見失フニ至リレカ神崎附近ニ於テ
幸ニ茅土水雷艇隊ニ會シ茅十五艇隊ハ壹岐方面ニ向ヒテ
ルヲ知リ茅十一艇隊ノミヲ率ヒテ急行シ敵艦隊ヲ北方ヨリ
壓セシカ為メ針路ヲ沖ノ島ノ北方ニ取リ此間對馬ハ危險
ヲ冒シ常ニ敵艦隊ト觸接ヲ保テテ敵情ヲ報告ニ勅メタルガ
故ニ稍確實ニ敵艦隊ノ所在ヲ知ルコトヲ得タリ正午頃敵艦
隊ハ沖ノ島ノ南方約十五海里ニ在リテ北西ニ行進スルノ報ニ接
シ其後濃氣ノ為敵ヲ見失ヒタルモ午後一時半頃沖ノ島ノ南
方約五海里ニ於テ再ヒ敵艦隊ヲ約^四半^ノ米突ニ認メ直チニ見失
ヒタルノ報ニ接セリ依テ針路ヲ右轉シ敵艦隊所在地タル沖ノ島
ノ南方ニ爲進ヒ一ガ此時猛烈ノ視界甚ク狭キカ故

0036

若シ敵ト會セハ直ニ接戦巨肉ニ入ルヘキヲ思ヒ益々(不慮)ヲ戒飭シ
 ツ、航進セシカ右舷艦首約ニ海里ニ於テ突然沖ノ島ヲ見メ
 之ヲ南方ニ避ケタリ此時浪速ヨリ對馬列ニ入ルノ電報ニ接ス
 依テ本職ハ敵艦隊ガ濛氣濃密ナルニ察シ既ニ我カ北方ニ出ラタ
 ルモノト確信ニ直ニ針路ヲ北々西ニ変シ之ヲ追尾セシカ雨愈
 々烈シク視見愈々狭ク敵影ヲ発見スルノ望殆ニ絶ヘタル
 カ故ニ敵艦隊ハ浦塩斯德ニ直航スルカ或ハ九山ニ寄港スルナ
 ラント信シ明早朝鬱陵島附近ニ會戦スル外他ニ良策ナキ
 ヲ信シ更ニ針路ヲ轉シ同島ニ向ヘリ此間我カ艦隊各艦カ高
 速カヲ以テ濛雨四塞ノ間ニ不規運動ヲ行ヒ煙塵ノ故障
 ナカリシハ本職ノ満足スル所ナリ此夜天暗ク水雷艇ヲ利用スル
 ノ時機アルヘキヲ思シ第十一艦隊ニ命スルニ機ヲ見テ敵艦隊ヲ
 搜索攻撃シ然ル後竹敷要港ニ帰港スベキヲ以テセシモ風強

ク波浪高カリニ爲ル豫期ノ運動ヲ行フ能ハスレテ帰レリ十六日
朝艦隊對陵島ニ達スルヤ高千穂千早追尾ニ赤リ列ニ入り
此時天候回復ニ視及モ亦廣カリシモ遂ニ敵ノ隻影ヲ見ズ
依テ敵艦隊ハ例ノ如ク元山津沖ニ現ハレ右岸ヲ北航スルニ
ト想定シ翌日ヲ以テ敵艦隊ニ會セシ爲メ針路ヲフルヤツ止
岬ニ採リ翌天明之レニ達シ夫レヨリ海岸ニ沿テ南下セシガ
翌朝ニ至リ濃霧四方盛ニ屢々後続艦ヲ見失ヒタルモ聲ニ
豫定ノ針路ヲ保ツヲ得テ依テ千早ニ命レ急航元山津ニ
至リ艦隊行動ノ概要ヲ打電併セテ敵艦隊ノ動靜トシ元
山津附近ノ情報ヲ得セシメタルニ軍令部長ヨリノ電報ニ依レハ
敵艦隊ハ十七日再ヒ對馬附近ニ見ハレタルカ如クナルヲ以テ兎
ニ其ノ帰途ヲ激撃セントシ敵艦隊ノ行動ヲ想定シ翌朝之
ト對馬島以北ニ激撃セシ爲メ第四戰隊及千早ヲ以テ搜索

0038

列ヲ張り南下セリ此日天候至リテ早穩ニシテ視界廣ク心切ニ
搜索ノ有望ナルヲ期セシモ終ニ敵艦隊ニ會合セズ迎日湾ノ附
近ニ於テ第十一艦隊ニ會シ又大河ヨリノ電信ニ依リ敵艦隊ハ
北海道方面ヨリ浦塩斯德ニ向ヒタルカ如キ情報ニ接セルカ故ニ索敵
ヲ止メ同十九日午前九時帰着セリ此行動中約四晝夜ノ搜索
運動ハ比較的困難ナリシモ終ニ何等ノ効ナク止ムヲ得ズ帰港
セルハ深ク遺憾ニ甚ハスレテ勞切相俟タサルノ点ニ於テハ本職ノ
宥ニ慚愧スル所ナリ本職ハ終リニ臨ミ玄海灘水道ノ安固ナ
ラザリシハ止ムヲ得サルノ結果ナリト虫居遭難諸士ニ對シテ深ク
哀悼ノ意ヲ表ス

一 笠置高砂封鎖配置ヨリ帰着セリ(行動報告参照)

一新ニ第十一艦隊ニ附屬セルメタル第十一艦隊ノ各艇ハ機関部ニ
修理ヲ要スヘキ箇所多キ旨第十一艦隊ヨリ報告レ来リタルヲ以テ

0039

佐世保ニ行キ修理ヲナシタル上當方面ニ乘ルキ旨命セリ

一 塩太湾ニ上陸セル陸戰隊ヲ便宜日本丸ニ引上ケ更ニ重砲隊ヲ

編成シ二十五百位ニナリニ上陸セル旨第一艦隊司令長官

ニ訓令セリ(聯隊標密券
八三三号参照)

一 朔二十日夜ヲ以テ艦載水雷艇六艘及假裝砲艦三艘ヲ以テ旅順

口外ニ機軸水雷ヲ沈置セルムニ就キ聯合艦隊命令ヲ發セリ

(聯隊標密券
八三三号参照)

一 大連湾掃海面及同湾陸時防禦計画ヲ定ム(聯隊標密券
八三三号参照)

六月二十日 (月) 於裏長山列島三笠

天候 半晴 風 北北西三五 湿度 最高七四度 晴雨計 最高二九・九二
最低六一度 最低二九・七一

一 嚴島大連湾掃海專業警備ノ為メ出港セリ

一 假裝砲艦艦載水雷艇ノ本日ナク豫定ノ水雷沈置行動ハ風

波高キエハ之ヲ順延セリ

一 軍令部長ヨリ左ノ電報ニ接セリ

二十日午前二時三十分至隱岐國北方郵便局長ヨリ左ノ報告アリ

昨日午後十時頃区内「ガガシタ」沖ニ軍艦探海燈ヲ照シツ、南

ニ去ル

一 香港九八蛇磯島ヲ基点トシ登州府附近ノ沿岸ヨリ夜間旅順口ニ密

輸スルコトヤニクヲ監視スル為メ午前出港セリ

一 大連灣ニ於ケル港務部ハ昨日青泥窪ニ開始セシム子三浦港務

部長ヨリ報告セリ

一 海軍大臣ヨリ駆逐隊司令ノ乗艦タル駆逐艦ニ此際無線電

機ヲ装備セシムハキ旨電報訓令アリタリ(過日雷、速島ニ試験セリ後

果平海軍總長ノ通信確實ナルヲ以テ差向キ司令ノ乗艦タル駆逐艦ニ装備アリタキ旨其筋

ハ電報セシム依ルナラシ

0041

一 橋立大連湾掃海事業警備ヨリ帰着セリ
 一 黄海方面ニ行動スル艦艇ノ通信及便利ヲ計リ長キニ定メタル
 甲種特選地点ニ追加ヲナレ発布セリ（聯隊法令第...号ニ）
 一 旅順口ノ敵艦脱出ヲ急報スル緊急無線電信畧符号ヲ定メ
 発布セリ（聯隊法令第...号ニ）

0042



傳

秘

六月廿日(火)

於長長山列島三笠

徳田

天候 快晴 風南西 一三温度 最高七度 最低六度 晴雨計 最高九.九七 最低九.八九

一 東山大連灣掃海事業警戒備為ノ出港セリ

一 八雲千歳封鎖配備為ノ出港セリ

一 第一第二驅逐隊第一第二掃雷艇隊封鎖配備為ノ出港セリ

一 第一第二第三戰隊各艦載水雷艇六艘及第一第二假裝砲艦機

械水雷沈置為ノ午前出港セリ

一 封鎖配備アリシ第六戰隊(千代田)第一第二第三驅逐隊第一第二

六艇隊午後入港セリ其報告ニ依テ敵ノ南東山下ノ海面ニ多敷

ノ汽艇及ト教艦ノ驅逐艦二ノ砲艦ヲ出シ掃海ノ徒事トマルモノ

如ク又時々驅逐艦ノ教艦ハ老鉄山高角ノ南東ニ三哩ノ距離

出動スルアリガ如ク昨日午後六時城頭山下附近ニ於テ大々爆

発ニ面ヲ認メタルト云フ此附近掃海艇ヲキモノ教艦アリヨリ見ルハ或

0043

ハ掃海爆発セシテナラシカ其他旅順口向ヒ輸送ノ途ニアルヤノ疑アル
コトヤシクニ十数頭ノ馬匹ラヒキモノヲ認メタリシガ其位置敵水雷布
設アラシクテ虞ホク之ヲ追及セズシテ撃沈セリト云フ第五駆逐隊ニ於テ老
鉄山下ヨリ小平島ニ向ヒツツアリシコトヤシクシテ臨検セシガ船内ニハトロ及ヒ
米ノ百數十俵アルヲ発見シ之ヲ没收セリト云フ又第五駆逐隊ニ於テハ
旅順ヨリ脱出セル支那人(写真師)ヲ捉ヘリ訊問結果其言ニ依リハ
旅順口糧食ハ甚ク欠乏シ内類ハ此等土人ノ口ニスル能ハズ諸物價
亦非常ニ騰貴セリ港ロニハ四本煙突軍艦アリ其他哨艦トシテ小砲艦
ニ隻港ヲ左右ヨリニ隻宛ノ駆逐艦ハ毎夜港外ヲ警戒シヤリ旅順口内
ニハ四本煙突一隻ニ本煙突四隻三本煙突三隻計西港ニアリ是等
皆出勤シ得モ其東港ニシテモハ三本煙突ノ戦艦一隻ニ本煙突ノモ
ノ三隻計三本煙突小型ノモノ一隻アリテ出勤シ能ハシカ如ク目下修理
中ノモノハ小型ノ三本煙突軍艦トシテカサト又三四日前港ロヨリ七八隻

里沖ニ於テ水雷ニ觸レ敵ノ駆逐艦ニ艘爆沈シ十五百前モ亦汽船
 一艘(新太)爆沈セリト聞塞隊ノ内捕虜トナリ居モハ三四十人アリ内ニ
 名ノ士官アリ共ニ囚房ニヤリト云フ「ステツセル」ハ金州ノ戦ニ出陣セズ
 次席ノ將軍之カ指揮ヲナシ居リト信書ハ之ヲ芝罘ニ届クルモノアラハ參
 百金ヲ與ヒトスモ尚應ルモノナキカ如シト云フ
 一旅順口外ニ向テ艦載水雷艇ハ風波ノ爲メ「オジン」コーブニ避洩セリ
 嚴島ヨリ電報セリ
 一第一第二第三第四第五駆逐隊司令ノ乗艦タル白雲、雷薄雲
 速鳥陽炎ノ五艘ニ魚線ヲ取附クキ旨訓令セリ
 一第二艦隊各艇ノ前部ニ四十七密砲ヲ増備ス旨旨訓令セリ
 一嚴島大連灣掃海事業敬備ヨリ午後及港ヨリ
 一八雲ヨリ電報ニ依テ封鎖配備ニ出動中ノ香港丸ハ昨日疑ヒキ
 ンヤレクニラ砲撃シニ艘ハ逃ケ去リ一艘沈シ他ニ一艘臨検セシニ

表粉及ヒールノ多敷ヲ有セルヲ以テ之ヲ没收セリト云フ

六月二十二日(水) 於葭長山列島三笠

天候快晴 風 南西一四五 温度 最高七五度 最低六九度 晴雨 計最高九八 最低元八

鎮遠大連湾掃海事業警備ノ為メ出港セリ

一 三号四号假裝砲艦旅順口水雷沈置ノ為メ午可出港セリ

一 一号二号假裝砲艦旅順口水雷沈置ヨリ無事帰着セリ其報告

ニ依テ月没後午可二時過ニ於テ豫定位置(早八黄金山砲台ノ南 約四哩)

約四哩)ニ機械水雷十五箇ヲ約五十米間隔ニ深度大ニ潮面

下十呎トシ敷設セリニ号砲艦ハ敵ニ側面ヲ現ハセルヲ考カリ

為メ探海燈ニ照シ敵彈ノ集中スルヲ見下リ其附近ニ五十余彈

走リモ幸ニ船体ニハ一モ命中ス西船共無事敷設ヲ終リト云フ

一 本封鎖配備ノ變動中人等ヨリノ報告ニ依リ千歳真鶴、香港丸

等ヲ先鉄山高角ヲ去ル南東乃至南約二十哩乃至三十五哩

旭ニ於テ敵ノ機械水雷三箇ヲ発見爆発セシメタリト云フ

一 大連灣ノ掃海事業モ著々進海シ本日ヲ以テ「オヂニコトブ」迄全

山丸ヲ以テ試航ヲセシニ此ニモ故障ナカリトノ報告ヲ得タリ

一 塩太澳ニ於テ陸軍ノ揚陸ハ本日ヨリ第六師團共第四回輸送ヲ始

タリ

一 東郷第三艦隊司令官ヲ以テ第六戰隊及鳥海宇治ヲ第七艦隊

ヲ率ヒ渤海灣ニ入り封鎖ヲ強行シ旁々第二庫裡ヲ舩四艘ヲ

熊岳河附近ノ号房ノ沿岸迄護衛スベキ任務ヲ與ヘ二十四日出発

スベキ旨訓令ヲ發セリ

一 大連灣ノ固定防禦器材ヲ送附方付海軍大臣ヨリ九艦報ニ接ス

前進根據地用トシテ十二斤速射砲四門ト之ニ對スル砲架及ヒ漆

台附屬以共并ニ砲床用切組ミ器材四層分及各砲ニ對シ彈藥

三百發宛至急其隊ヘ送附方佐世保鎮守府司令長官ニ訓

令セリ

一軍司令部次長ヨリ九ノ電報ニ接ス

今ヤ旅順ノ運命切迫ス方リ敵ハ必死ノ力ヲ尽シテ奮戦ヲ試ムキ
ニ依リ貴艦隊ニ是ニ對シテ策ヲ講シ居ルハ深ク信心外ナリト雖
此際成ルベク貴地方面ノ艦艇ヲ遠ク分遣ス時機ニ至リ集団一
致シテ專ラ敵ニ當リテ得ル様是ヲ配備セリトヨリ緊要ト思考
スルニ依リ念ノ為メ申進ガ

又

「アレキヤ」ノ報告ニ依ル五月廿六日敵ノ駆逐艦十隻金洲灣ニ在ル
我砲艦ヲ攻撃スル為メ出港シタル内一隻坐礁シタルヨリ之ヲ放棄シ
タリ乗組員ハ無事ナリト云フ旅順究迫ノ今日遼東海灣ニ一層
ノ危険ヲ増セシモト認ム又今報告ニヨリ五月廿六日大連灣ニ在リテ敵
ノ艦艇「ホーブル」外駆逐艦「ホーキー」「ボール子ター」ナリトアリ

六月二十三日(木)

於長山列島三笠

天候快晴

風

南一

温度

最高七度
最低五度

晴雨計

最高五九
最低三八

一日進春回及第五戦隊附属各水雷艇隊大連湾沖ニ至リ五時少動

セリ

一 浅間千代田封鎖配備交代ノ為午前八時出港セリ

一 午前八時五分封鎖配備中ニ八雲ヨリ敵艦隊港外ニ出ツト下ノ駁急

電報ヲモセザリテ直ニ総艦艇ニ汽罐至急点火ニ時ヲ后出港用

意ヲ命セリ

一 午前九時五分笠置高砂蒸気發生シテ先ニ旅順沖ニ八雲

ニ合ス為メ出港セリ

之次テ各駆逐隊艇隊松島叢島第六戦隊順次出港旅順沖

向ニ至リ此時八雲ヨリ次ノ電報ニ接ス敵主力八艘敵駆逐艦三艘

蒸気船港外ニ下

一 富士艦載水雷艇ヲシテ今夜敵艦ノ慮ニ乘リ機械水雷ヲ港口深ク沈置セシムル爲メ殘リ置キ旅順口ニ向フガ旨命セリ

一 午前九時廿分日進ヲ龍ノ命ヲ發セリ

一 其地附近ニ駐隊艇隊ヲ集國ニ旅順口外ニ現ル敵ヲ威赫セシメヨ

一 午前六時廿分第一戰隊旅順口外ニ向テ出港ス細谷司令官ヲシテ前

進根據地ノ敵艦備ニ関スル諸任務ヲ採ル旨扶桑ニ電報ヲ置ケリ

一 午後〇時五分日進ヨリ第一戰隊四駆逐隊ヲ旅順口沖ニテ水雷艇

隊全部ヲ午前十時遇岩ヲ出發セシメ各旨電報ヲ接ス

一 午後二時第一戰隊遠カラ十四節トナシ遇岩北ニ向テ今時ニ鎮遠

ヨリ龍ノ電報ヲ接ス

一 鷄冠山砲台下ニ敵艦十艘徘徊シ我駆逐艦六艘水雷艇二艘近ク監視ス

一午後三時旅順ニ方向ニ砲声ヲ聞ク茅四駆逐隊兼由艇隊ノ敵駆逐艦
艦々ヒ「アビック」ト砲戦セリ

一午後三時五分松島ヨリ丸ノ電報ヲ接セリ
敵艦隊老鉄山ニ浴ヒ出ルモノ如シ

一午後五時五分松島ヨリ丸ノ電報ヲ接セリ

敵艦隊過キ我ハ水雷線ヲ通過セリ

一午後五時五分松島ヨリ左ノ情報ヲ接セリ

港外ニ見ユ敵艦次ノ如シ「ペレスヴェト」「イビック」「アスコリッド」「セバス

トホリ」「ホルタワ」「デイヤナ」「バーヤン」「ツエサレビツク」「ポペーダ」「バルラ

ダ」外ニ砲艦数隻汽船数艘アリ敵艦隊ヲ東ニ分ク「南上」

アリ南方ノ針路ヲ取り掃海汽船ヲ先登トシ進ムモノ如シ

此時敵對シテ稍西方ニ航過シタルヲ以テ十六点正而変換ヲナシ東北
東ニ向フ

一午後五時五分 駆逐隊艇隊ヲシテ敵艦隊ヲ撃撃準備ヲナスベキヲ

命セリ

一午後六時日進春日ニ艦ヲ茅戰入隊 殿後ニ位置シ列中ニ入ラセタリ

此時速馬来リテ左報告ヲセリ

敵艦五隻 巡洋艦六隻 砲艦三隻 駆逐艦八隻 小蒸汽船三隻

今朝天明ヨリ山々港ヲ始メ掃海艦曰キ速度ヲ以テ掃海ヲ行フ時

ニ爆發ヲ見ル午後四時頃ニ敵艦掃海艦ノ跡ニ從テ老鉄山下迄出

来リ今彼ノ掃海法ニ依ルニ最早敵艦ノ容易ニ出動シ得ルモト思

考セシ先程敵ノ駆逐艦七隻出来リ吾ニ向テ砲撃ス我ニ之ヲ交

戦ス第一駆逐隊芽出艇隊應援ヲ途中ヨリ「ロボック」加リ砲撃

盛リ此時向四分敵 駆逐艦一艘ハ大炎ヲ起シ港内ニ遁逃スル

ヲ見ル本隊ニ死傷 實損ナシ

一午後六時五分敵艦隊老鉄山下ニ泊ラテ南下シ其先頭ハ已ニ老鉄山高

角ノ南ニ向テ見エ弥々脱出セト企ツルモノタリヲ知回頭正面ヲ
変テ西ニ向テ

一午後七時五分戰鬥旗ヲ揚ケ全庫ニ九ノ信號ヲナス

皇國ノ興敗此一戦ニリ各員一層奮勵努力セヨ

一午後七時五分戰鬥速カク西節トシ敵艦隊ノ先頭ニ出テ之
ヲ壓迫ス

一午後七時五分針路ヲ二点右方ニ転シテ西南西トス之ヨリ先キ太陽ノ
方位ハ恰モ敵艦隊ノ先頭ニ近ク日光ノ照耀ハ為シ我隊ノ照準
ヲ困難ナシテ充分敵ヲ接近シ得ザリシモ我速カク優リシ為漸ク敵
ヲ左方ニ見照準ノ困難ヲ感セザルニ至リタルヲ以テ針路ヲ稍右ニ轉セリ
此時第一戰隊ハ帽島附近ニ第一戰隊ハ第一戰隊ノ西南約三千米突
第六戰隊ハ第一戰隊ノ北東約三千米突駐隊艦隊ハ此間ニ点綴シテ
航在シ敵南方海面恰モ我艦艇ヲ以テ之ヲ掩フカ如ク觀テ星アリ

0053

一 午後八時敵艦自ヲ右廻シ老鉄山ノ東ニ向テリ依テ第戦隊ハ右八点
齊動ヲシ敵ヲ追蹙セリ此時敵ヲ距ル最近ニ五三五百米突リシ
一 午後八時五分逐隊艇隊ヲシテ好機ニ衆シ敵ヲ撃テシトシ之
ヲ追蹙スキヲ命シタリ

一 午後八時十分機熟スルヲ認シ逐隊艇隊ニ敵ヲ進撃スキヲ命セリ
一 午後八時廿分日没シタルヲ以テ敵ヲ追蹙スルヲ左ノ八点齊動ヲナシ次テ
戦斗旗ヲ却リ針路ヲ東ヲ北トナシ且各隊ヲ九ノ豫定地ニ向ハ
シム

第一戦隊及日進春日八重山八八三地点

第三戦隊 八九〇地点

第六戦隊 八二〇地点

第五戦隊ノ残部 八六連湾沖

右ノ地点向テ航在シ敵艦隊南下脱出ニ備ヘ翌朝田島ニ會合